

# InDesign での注意点 No.1

2011/03

平成 22 年 10 月に行われた、カシヨでの勉強会で説明がありました内容で不具合があることが判明しました。下記の内容をお読みいただき、ご注意していただくようお願いします。

PDF のデータ量を抑えるための方法の一つとして、Illustrator EPS を InDesign に配置するとありましたが、不具合がありますのでご注意ください。

## ■不具合の内容

InDesign CS3 以降において透明機能が使用された Illustrator EPS ファイルの配置は、出力結果に透明分割による線が出る場合がある

## ■不具合になる手順

Illustrator で透明を含むデータを EPS 保存する



InDesign に Illustrator EPS を配置する



InDesign から直接 PDF 書き出し

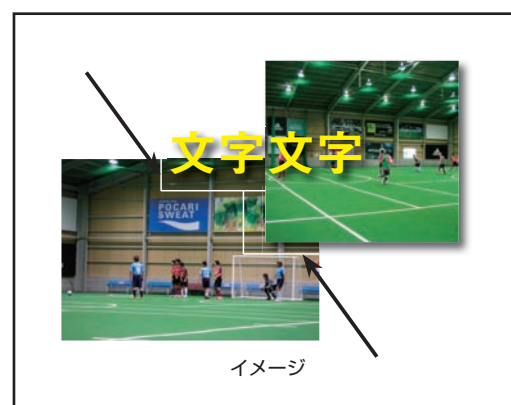


※透明分割に分割線が出る場合がある

## ■注意点

- ※透明機能を使用していなければ不具合はおきない（ドロップシャドウは透明機能）
- ※ CS2 までは Illustrator の不具合で、画像を埋込みすれば回避できていた
- ※ IllustratorCS3 以降は直接 PDF 書き出しすれば問題なし（InDesign の不具合）
- ※画像同士が重なり、しかも透明機能の影響がある部分は線が出る確率が高い

特に画像が重なると線が出る確率が高い



## ■回避方法

- ・ InDesign に配置するファイルは、Illustrator EPS ではなく、Illustrator (AI) 形式で配置する
- ・ InDesign に配置しないで、IllustratorCS3 以降は直接 PDF 書き出しする